

第7回「異常気象と長期変動」研究集会

平成21年度防災研究所研究集会(21K-04)

「異常気象と気候変動のメカニズムと予測可能性」

開催日時 2009年10月29日(木) 13:40~17:55
2009年10月30日(金) 9:40~17:10

開催場所 京都大学宇治キャンパス内 木質ホール3階大セミナー室

2009年10月29日

セッション1

司会: 向川 均(京大・防災研)

13:40 趣旨説明

向川 均(京大・防災研)

13:45 夏のNAMの発達とブロッキング高気圧との関連

立花 義裕*(三重大・生物資源)・中村 哲・小宮 豪巳・高橋 政憲

14:00 CMIP3 マルチモデルにおけるヤマセの季節性の再現性と将来変化

遠藤 洋和(気象研・気候)

14:15 2009年夏に見られた亜熱帯ジェット気流の特徴とこれと関連した大気大循環について

牛田 信吾*・藤川 典久・原田 やよい・長谷川 寛(気象庁・気候情報課)

14:30 北極振動指数の中長期予報実験

田中 博*(筑波大・計算科学)・加藤 真吾(気象庁)

14:45 気象庁週間アンサンブル予報データを用いたブロッキング形成時の予測可能性評価

竹村 和人*(京大・理)・向川 均(京大・防災研)

休憩 15:00-15:20

セッション2

司会: 中村 尚(東大・理)

15:20 定在波と非定常擾乱による南北熱輸送に見られる補償関係

渡部 雅浩*(東大・気候システム)・岩崎 俊樹(東北大・理)・小玉 知央(海洋研究開発機構)

15:35 南半球中高緯度における大気大循環モードのシフトについて

宇田川 佑介*(北大・環境科学)・山崎 孝治(北大・地球環境)・立花 義裕(三重大・生物資源)

15:50 CMIP3 モデル中での春一番の発生に関連した極東冬季ストームトラック活動の再現性と将来予測

西井 和晃*・宮坂 貴文(東大・理)・小坂 優(ハワイ大・IPRC)・中村 尚(東大・理)

16:05 黒潮続流域の SST 変動に伴う地表付近の傾圧性変動と大気循環場への影響

高谷 康太郎*(海洋研究開発機構)・中村 尚(東大・理)

16:20 中緯度 SST 勾配が移動性擾乱活動に与える影響

小川 史明*・中村 尚(東大・理)・吉田 聡(地球シミュレータ)

休憩 16:35-16:55

セッション3

司会: 木本 昌秀(東大・気候システム)

16:55 東シナ海の黒潮による梅雨への影響: 降水集中化の可能性

浅井 丈昭*・見延 庄士郎・稲津 将(北大・理)

17:10 黒潮・黒潮続流における気圧極小

谷本 陽一*(北大・地球環境)・時長 宏樹・謝 尚平(ハワイ大・IPRC)

17:25 熱帯対流圏循環変動のデータ間比較

吉田 康平*(北大・環境科学)・山崎 孝治(北大・地球環境)

17:40 気象庁1か月予報モデルにおける潜熱加熱率の検証

新保 明彦*(気象庁・気候情報課)・佐藤 均・徳広 貴之・高橋 清利・本山 龍也・尾瀬 智明・中澤 哲夫

懇親会(宇治生協会館) 18:15-20:00

2009年10月30日

セッション4

司会: 田中 博 (筑波大・計算科学)

09:40 ラジオゾンデデータにおける QBO の ENSO 依存性
田口 正和 (愛知教育大・地学)

09:55 太陽 11 年周期変動に伴う成層圏大気の応答
山下 陽介 * (東大・気候システム)・坂本 圭・秋吉 英治・高橋 正明・永島 達也・L. B. Zhou

10:10 成層圏でのプラネタリー波の反射と関連する帯状風構造
佐治 憲介 * (京大・理)・向川 均 (京大・防災研)・小寺 邦彦 (名大・太陽地球環境研)

10:25 夏季成層圏オゾン増加が対流圏循環へ及ぼす影響
中村 哲 * (国立環境研)・秋吉 英治・山下 陽介

休憩 10:40-11:00

セッション5

司会: 谷本 陽一 (北大・地球環境)

11:00 2009年1月大規模突然昇温の特徴とその予報について
一丸 知子 *・廣岡 俊彦 (九大・理)・向川 均 (京大・防災研)

11:15 2009年1月の成層圏突然昇温の熱帯への影響
小寺 邦彦 * (名大・太陽地球環境研)・江口 菜穂 (国立環境研)・一丸 知子 (九大・理)

11:30 隣接閉領域トラッキング
稲津 将 (北大・理)

11:45 自己組織化マップを用いた西太平洋~インド洋の ENSO シグナルの抽出
酒井 久美 *・川村 隆一 (富山大・理工)

昼食休憩 12:00-13:30

セッション6

司会: 川村 隆一 (富山大・理工)

13:30 北半球冬季の Madden-Julian 振動の中高緯度成層圏への影響
梅津 浩典 *・伊藤 久徳 (九大・理)

13:45 気象庁一か月アンサンブル予報ハインドキャストデータを用いた夏季日本に影響を与えるテレコネクションの予測可能性
長屋 幸一 *・川村 隆一 (富山大・理工)

14:00 季節内変動に伴う海洋上層の変動
佐藤 尚毅 * (東京学芸大・自然科学)・米山 邦夫・城岡 竜一・吉崎 正憲・高藪 縁

14:15 インド洋における海洋変動と夏季アジアモンスーンや大規模循環場との関係について
原田 やよい *・長谷川 寛・牛田 信吾・藤川 典久 (気象庁・気候情報課)

休憩 14:30-14:50

セッション7

司会: 渡部 雅浩 (東大・気候システム)

14:50 伊勢湾台風再現実験
釜堀 弘隆 * (気象研・気候)・別所 康太郎・川畑 拓矢・新藤 永樹・原 昌弘・國井 勝・高野 洋雄・中澤 哲夫・高橋 清利・海老田 綾貴・太田 行哉・古林 慎哉・守谷 昌己

15:05 気象庁大気海洋結合モデルを用いた季節予報実験
平井 雅之 *・石川 一郎・新保 明彦・佐藤 均・成瀬 由紀子・曾我 太三・森 浩俊・足立 典之・出原 幸志朗 (気象庁・気候情報課)

15:20 赤道東太平洋域の海面水温の変動に対して現実的な熱帯西太平洋の降水応答を示す CMIP3 モデルの特徴
尾瀬 智昭 *・荒川 理 (気象研・気候)

15:35 熱帯大西洋における SST 偏差の南北勾配とその予測可能性
近本 喜光 *・木本 昌秀・渡部 雅浩・森 正人 (東大・気候システム)・望月 崇・石井 正好

休憩 15:50-16:10

セッション 8

司会: 伊藤 久徳 (九大・理)

16:10 結合大循環モデルを用いた十年スケール気候変動予測

望月 崇*(海洋研究開発機構)・木本 昌秀・石井 正好・近本 喜光・渡部 雅浩・森 正人

16:25 大気海洋結合モデル MIROC に見られる PDO

森 正人*・木本 昌秀(東大・気候システム)・石井 正好・渡部 雅浩

16:40 気候変化予測から南米水資源影響評価への不確実性伝播

塩竈 秀夫*・江守 正多・花崎 直太・阿部 学・増富 祐司・高橋 潔・野沢 徹(国立環境研)

16:55 20 世紀の夏季アフリカの降水変動に及ぼした人間活動の影響

川瀬 宏明*・野沢 徹・阿部 学(国立環境研)

17:10 終了

研究集会発表要旨作成要領

ご講演頂いた皆様には大変お手数で恐縮ですが、研究集会の報告書を作成致しますので、以下の要領で
ご講演の要旨をご執筆頂き、期日までにご送付頂けますようお願い申し上げます。

期日: 2009年12月22日

提出ファイル形式: pdf ファイル

提出方法: e-mail の添付ファイルとして

mukou@dpac.dpri.kyoto-u.ac.jp

宛に、お送り下さい。

e-mail で送付できない場合は、下記までご連絡下さい。

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

京都大学防災研究所気象・水象災害研究部門

向川 均

TEL: 0774-38-4151

FAX: 0774-38-4153

書式:

- A4 で4ページ程度以上を目安にしてください(4ページ未満でも構いません)。
- 上下は3cm程度、左右は2.5cm程度のマージン(空白)をとる。ページ番号は記載しない
- カラー図版使用可
- 本文フォントサイズは11ptで、2段組みが望ましい(1段組みでも可)
- 引用文献もつけてください
- 先頭ページスタイルは以下のようにお願いします

講演タイトル [中央寄せ]

氏名(所属) [右寄せ]

本文開始(本文は11ptが望ましい)

文例として

<http://www.dpac.dpri.kyoto-u.ac.jp/mukou/meeting-03/Report/mukou.pdf>

を御参照ください。

以上です。

JR 奈良線 黄檗駅 時刻表 (平日)

京都 ⇒ 黄檗 (往路)

08時	京都	13	22	40	47
	黄檗	38	42	00	07
09時	京都	03	24	35	52
	黄檗	22	48	57	17
10時	京都	05	22	35	52
	黄檗	27	47	57	17
11時	京都	05	22	35	52
	黄檗	27	47	57	17
12時	京都	05	22	35	52
	黄檗	27	47	57	17
13時	京都	05	22	35	52
	黄檗	27	47	57	17

黄檗 ⇒ 京都 (復路)

15時	黄檗	18	28	48	58
	京都	39	50	09	20
16時	黄檗	18	28	48	58
	京都	39	50	09	20
17時	黄檗	19	28	43	50
	京都	42	50	03	12
18時	黄檗	06	20	36	46
	京都	26	48	58	11
19時	黄檗	06	20	36	46
	京都	26	48	56	11
20時	黄檗	06	20	37	44
	京都	26	48	56	04
21時	黄檗	06	21	37	58
	京都	26	48	57	20
22時	黄檗	30	45	56	
	京都	50	08	19	